

大平恵理書

	学年	名前	
小 二			た 白 う さ ぎ
			に た す け ら れ
			だ い こ く さ ま

※つぎのむすび方かたでもよい。「ま」

いなばの白うさぎ

白ウサギが海をわたろうと、だ
まして海にならばせたワニザメた
ちの背中せなかをわたったところ、お
こったサメたちに、かわをはがさ
れてしまいました。通りがかった
かみさまたちが「海水で体をあ
らって乾かせ」と言いました。で
も、いたくなるばかり。後から来
た「おおくにぬしのみこと」とい
うかみさまは「ま水であらい、が
まのほわたにくるまりなさい」と
教えてくださいました。ウサギは
元の白い毛にもどりました。

「いなばの白うさぎ」は出雲神話（いずもしんわ）の一つで、「おおくにぬしのみこと」（おおくにぬしのみこと）は七福神（しちふくじん）の一人です。

（課題文は「書文協」とば会議選定・創作）